

小5 社会(下)第3 回奈良時代～奈良の都と天平文化～要点解答1 2024/09/07 改訂 氏名(山上 イクラ)
漢字で書けるようにしておくこと。ただし、※印のところは、ひらがなでも正解にします。

1	701	18	和同開珎	35	三世一身の法
2	藤原不比等	19	710	36	墾田永年私財法※
3	律	20	平城京	37	莊園
4	令	21	長安	38	道鏡
5	2官8省	22	国府	39	犬上御田鋏※
6	国司	23	木簡	40	阿倍仲麻呂
7	郡司	24	古事記	41	鑑真
8	里長	25	風土記	42	唐招提寺
9	租	26	日本書紀	43	天平文化
10	庸	27	光明皇后	44	正倉院
11	調	28	聖武天皇	45	イラン
12	防人	29	国分寺	46	シルクロード
13	万葉集	30	国分尼寺	47	校木
14	山上憶良	31	東大寺	48	校倉造
15	6	32	743	49	ア・エ・カ・ク
16	口分田	33	行基		
17	708	34	723		

記述1 女性の数が男性よりもはるかに多い。

記述2 女性の方が、税が軽いために男の子が生まれても女が生まれたと戸籍をいつわった。

記述3 口分田をすてて、貴族や寺社の土地に逃げ出す者が出てくるようになった。

記述4 どのような種類の特産物が、どこから都に納められていたかが分かる。

記述5 仏教には国を守る力があると考えられていたため、仏教の力によって国を治めようとした。

記述6 このころの仏教は、僧が一般の人々に教えを広めることを禁じていたこと。

記述7 水俣病のような水銀が原因の公害病が発生したと考えられる。

記述8 天皇の力が弱まり、今までの公地公民制がくずれていった。

記述9 仏教が朝廷に保護されて栄えたため寺院の勢力が強くなり、僧が政治に口を出すようになった。

記述10 朝鮮半島の新羅との関係が悪化したため。

記述11 このころの船はおもに風のカで進むため、この季節には南東の季節風を利用することができた。